

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	SOUFIRST高原			
○保護者評価実施期間	R8年2月16日		～	R8年2月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32名	(回答者数)	32名
○従業者評価実施期間	R8年2月16日		～	R8年2月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	R8年2月27日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	理学療法士・言語聴覚士・保育士など多職種の専門職員が在籍しており、それぞれの専門性を活かした包括的・個別的な支援が提供できている	定期的なモニタリングを実施し、各専門職の視点を個別支援計画に反映させている。子どもの特性や発達段階に応じた支援内容を随時見直している	外部専門機関(医療・相談支援事業所等)との連携をさらに深め、より高度な専門的支援が提供できる体制を強化していきたい
2	子どもが安心感を持って通所でき、通所を楽しみにしていると保護者の9割以上が回答。個々の子どもの気持ちや意思を尊重した関わり方が定着している	子どもの警戒心や人見知りに配慮した段階的な関わりを心がけ、安心できる環境づくりと職員との信頼関係の構築を優先している	子ども一人ひとりの「好き・得意」を把握し楽しみながら発達を促す活動をさらに充実させていきたい
3	保護者の不安や悩みに職員が共感的に寄り添い面談や日常のコミュニケーションを通じて精神的サポートが行えていると高く評価されている	送迎時の声かけやHUGを通じて日々の様子を細かく共有し、保護者が孤立しないよう意識的な関わりを続けている。家族支援時は子育ての相談にも丁寧に応じている	次年度は保護者会、保護者向けの研修会等も計画的に行い、より専門的な面からのサポートもしていければと思う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の運営や、きょうだい児を含む家族支援の機会が少なく、保護者の約半数が「よくわからない」と回答している状況にある	事業所主体の父母会・交流会の開催実績が少ない	次年度は年4回の保護者会を計画し保護者様とも密に関わって行けたらと考えている。
2	保育所・幼稚園・こども園等との交流や地域の他のこどもとの活動機会が十分に確保できていない	日々の個別療育・集団療育の運営が優先され外部機関との交流活動を計画・調整する時間・体制が整っていない。	近隣の保育所・幼稚園等と交流プログラムを年間計画に位置付け、定期的な合同活動の場を設けていきたい。 また、実施状況を保護者に積極的に発信する
3	避難訓練の実施が全利用日に行き渡っておらず訓練に参加したことがない児童がいる。防災マニュアルの内容も保護者に十分周知されていない	訓練の実施日が一部の曜日・日程に偏っておりすべての利用児童が参加できていない。マニュアルは存在するが保護者への配布・説明が不十分な状況にある	避難訓練を全児童が参加できるように調整して開催する。また保護者参加型にし実際の訓練の様子を見ていただいたり災害が起こった際の対応方法も共有して行けたらと思う。その際に防災マニュアルも配布し、説明を行う場を設ける等の対応を行う